

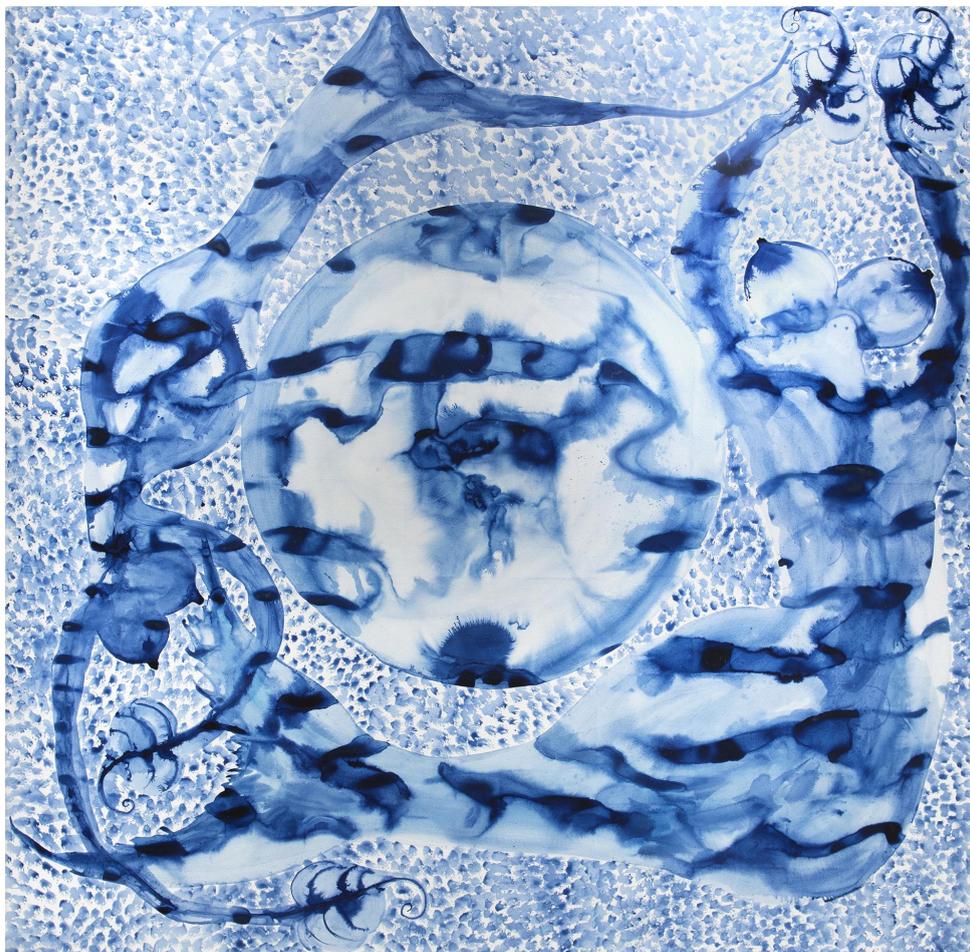


space Un | プレスリリース

2025年3月26日

Barthélémy Togo  
バルテレミー・トグオ

4月18日 - 6月29日 2025



*This is What Dreams Are Made of, 2017*  
Ink and acrylic on paper mounted on canvas  
200 x 200 cm  
© Barthélémy Togo  
Courtesy Galerie Lelong and Bandjoun Station

---

space Un  
TOKYO

KLO Minami-Aoyama Building 1F, 2-4-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, 107-0062, Tokyo, JAPAN

[www.spaceUn.tokyo](http://www.spaceUn.tokyo)

IG: spaceUn.tokyo



---

## 展覧会開催概要

### Barthélémy Togo Solo Exhibition

展覧会会期: 2025年 4月 18日(金)～ 6月 29日(日)

会場: space Un (〒107-0062 東京都港区南青山 2-4-9 KLO 南青山ビル 1F)

時間: 水～日曜日 12:00 - 19:00

お問い合わせ: [contact@spaceun.tokyo](mailto:contact@spaceun.tokyo)

---

## プログラム・スケジュール

### 2025年 4月 18日(金)

18:00 - 19:00 アーティスト・トーク (バルテレミー・トグオ x 名古 摩耶 ARTnews JAPAN) 日本語通訳つき

19:00 - 21:00 オープニング・レセプション

---

取材、プレスプレビュー、その他のお問い合わせは下記までお願いいたします。

中谷尚生

ギャラリーディレクター

✉ [n.nakatani@spaceun.tokyo](mailto:n.nakatani@spaceun.tokyo)

清子・ンバコ

コミュニケーションディレクター

✉ [s.mbako@spaceun.tokyo](mailto:s.mbako@spaceun.tokyo)

お問い合わせ

✉ [contact@spaceun.tokyo](mailto:contact@spaceun.tokyo)

---

space Un  
TOKYO

KLO Minami-Aoyama Building 1F, 2-4-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, 107-0062, Tokyo, JAPAN

[www.spaceun.tokyo](http://www.spaceun.tokyo)

IG: spaceun.tokyo



## アーティストについて

### バルテレミー・トグオ

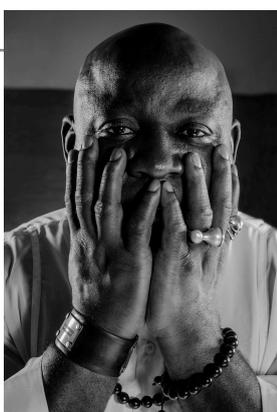
バルテレミー・トグオは1967年にカメルーンのムバルマヨで生まれました。1989年から1993年にかけて、アビジャン国立美術学校(コートジボワール)、グルノーブル(フランス)、そしてデュッセルドルフ芸術アカデミー(ドイツ)で美術を学びました。デュッセルドルフでは、トニー・クラッグ、ヤニス・クネリス、コンラッド・クラブヘックらと出会い、大きな影響を受けました。ヨーロッパに定住しフランス国籍を取得しましたが、トグオは故郷カメルーンへの深い愛着を持ち続け、定期的に帰国しています。

2013年には、カメルーンに「バンジュン・ステーション」という財団を設立し、世界中のアーティストや研究者を招いた滞在制作の場を提供しています。このプロジェクトについて、彼は次のように語っています。「バンジュン・ステーションの構想は、伝統的なアフリカ美術と世界の現代美術を区別なく同じ空間に展示し、価値のヒエラルキーをなくすことでした。そうすることで、ここが伝統と現代が交わる交差点となるのです。」この「国境なきラボラトリー」には、アーティスト自身がコレクターや同業者との交流を通じて収集した現代アート作品が展示されており、さらに持続可能な農業プロジェクトも展開しています。

1990年代後半からトグオの作品は多くの批評家やキュレーターの注目を集め、数々の国際的な展覧会に招待されてきました。1999年にはハンス・ウルリッヒ・オブリストによる「Migrateurs」(ARC、パリ)、2000年にはジャン＝ユベール・マルタンによる「Partage d'exotismes」(リヨン・ビエンナーレ)、2001年にはピエール・レスタニーによる「Political Ecology」(ホワイトボックス、ニューヨーク)、2015年にはオクウィ・エンヴェゾーによるヴェネチア・ビエンナーレ「All the World's Futures」に参加しました。

2016年には、フランスのマルセル・デュシャン賞の最終候補4名に選ばれ、ポンピドゥー・センターで《Vaincre le virus!》を発表しました。2018年にはニューヨークのパリッシュ・アート・ミュージアムで個展「The Beauty of Our Voice」を開催。2021年にはケ・ブランリー美術館(ジャック・シラク・ミュージアム)で個展「Désir d'Humanité」を開催しました。2022年にはシドニー・ビエンナーレで全長10メートルのインク画《The Generous Water Giant》を発表し、同年ルーヴル美術館のピラミッド下に大規模なインスタレーションを制作するよう招待されました。

(提供: **Galerie Lelong**)



space Un  
TOKYO

1-1-1 Aoyama Building 1F, 2-4-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, 107-0062, Tokyo, JAPAN

[www.spaceUn.tokyo](http://www.spaceUn.tokyo)

IG: spaceUn.tokyo



Portrait, 2019  
Photo © Zacharie Ngnogue  
Courtesy Galerie Lelong

## バルテレミー・トグオ 日本での展示歴

現代アフリカを代表するアーティストの一人であるバルテレミー・トグオは、これまで日本国内で複数の展覧会やプロジェクトに参加し、その表現力豊かな作品を発表してきました。彼の作品は、絵画、彫刻、インスタレーション、パフォーマンスと多岐にわたり、移動、アイデンティティ、環境問題といったテーマを探求しています。以下の展示を通じ、バルテレミー・トグオは日本との深い芸術的対話を築いてきました。

## 日本での主な展示・プロジェクト

- **2006年**:「アフリカ・リミックス:大陸の現代美術」- 森美術館(東京)  
キュレーターのシモン・ンジャミによる国際的な展覧会に参加。80名以上のアーティストによる多様な表現を通じ、アフリカ現代美術の最前線を紹介。
- **2010年**:「野口の贈り物:開館10周年記念展」- 野口美術館(日本)  
彫刻家イサム・ノグチの芸術的遺産に焦点を当てた展覧会に参加。現代アーティストによる作品とノグチの影響の関係性を探る。
- **2013年**:「あいちトリエンナーレ」- 愛知県  
国際芸術祭にて大規模なインスタレーションと絵画作品を発表。グローバルな文化交流をテーマにした作品を展示。
- **2015年**:「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ」- 新潟県  
地域の風土や文化を反映した作品を制作し、世界的に注目されるアートフェスティバルに参加。

---

space Un  
TOKYO

KLO Minami-Aoyama Building 1F, 2-4-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, 107-0062, Tokyo, JAPAN

[www.spaceUn.tokyo](http://www.spaceUn.tokyo)

IG: spaceUn.tokyo



- **2025年: 個展 – Space Un (東京)**

トグオは日本のギャラリーで初の個展を開催。space Unの1周年記念展として、吉野でのレジデンシーを通じて制作した新作を展示。

### **space Un について**

space Un は、東京に新しく生まれた芸術・文化プラットフォームで、アフリカの現代アート、日本とアフリカ、ディアスポラとの間の文化交流に焦点を当てています。コレクターのエドナ・デュマが発起人となり、アフリカの現代アートへの情熱とアフリカ人の現代アーティストを支援したいという願いから始まりました。

この個展は、space Unの1周年記念展として開催され、同ギャラリーの成長とアフリカの現代アートに対する情熱を祝います。space Unは単なる展示スペースに留まらず、アフリカと日本の文化的コミュニケーションの場となることを目指しています。そのための重要なプロジェクトの一つが、アーティストを日本に招致するレジデンシー・プログラムです。このプログラムはspace Unで開催する個展ともリンクしており、参加アーティストたちの作品は南青山のギャラリーで展示されます。

---

**space Un**  
TOKYO

KLO Minami-Aoyama Building 1F, 2-4-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, 107-0062, Tokyo, JAPAN

[www.spaceUn.tokyo](http://www.spaceUn.tokyo)

IG: spaceUn.tokyo